凡　事　徹　底

当たり前のことを当たり前に

蕨市立第二中学校
学校だより
令和２年度
第１１号（３月号）

一年間、本校教育にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました

校長　小山　晃弘

早いもので、令和２年度もあとひと月となりました。６月の入学式、分散登校から始まり、夏休みは２０日間。さらに、９２日間という長い２学期を経て、いよいよ３月です。

２月は暖かい日と寒い日が交互に訪れ、少しずつ春の陽気に近づいているように感じられました。また、朝夕を見ると日が長くなっており、冬時間の終わりを告げているようです。

そして、３月は卒業の季節です。ご案内のとおり、卒業式は内容を大幅に削減し、参加人数も制限しての実施となります。保護者の皆さんや３年生には、たいへん申し訳ありませんが、式場の準備等一生懸命取り組ませていただきますので、どうかご容赦ください。

春は旅立ちの季節であり、出会いの季節でもあります。小学校から中学校に進学するときは、慣れ親しんだ小学校の多くの仲間たちと第二中学校に入学しましたが、今度は、それぞれの選んだ道に進んでいきます。期待と不安、様々な気持ちが入り混じった複雑な心境なのではないでしょうか。それは、１・２年生も一緒で、新しい学年、新しいクラスはどのような雰囲気なのだろうか、仲の良い友達はいるのだろうか、部活の仲間はいるのだろうかと、期待と不安で胸がいっぱいになるのではないでしょうか。保護者の皆さんも、多かれ少なかれ、同じような経験をお持ちではないでしょうか。この時期になると、私は次の詩をよく思い出します。

独りではない　　宮澤章二

ひとりっきりで耐えねばならぬ季節には
ひとりっきりで耐える強さを持とう……
草の芽たちは　みんなそうして育った
けれど　育ってみると独りではなかった
まわり中に　同じ強さを持つ仲間があふれ
ありあまる若さで光り合っているのだ

ひとりっきりで咲かねばならぬ季節には
ひとりっきりで咲く勇気を持とう……
花のつぼみたちは　みんなそうして開いた
けれど　開いてみると独りではなかった
まわり中に　同じ勇気を持つ仲間があふれ
香り合う美しさで共に輝いているのだ

勇気に満ちた強い心　それが命を磨く
磨かれた命は仲間を呼び　仲間に出合い
はればれと生き抜く宇宙を　そこにつくる

中学生の皆さんは、１人だけでやり抜かなければならないことが、これからどんどん増えてきます。責任も重くなり、不安になることがあると思いますが、ふとしたことで、同じ苦労をしてきた人や、不安を抱えながらも頑張ってきた人と出会えるかもしれません。辛いときも我慢が必要な時も、同じように頑張っている人が必ずどこかにいて、いつか仲間として出会えるチャンスがくることを信じて進んでいって欲しいと思います。

最後に、保護者の皆様、本年度中は大変お世話になりました。次年度も、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【二中Ｂａｓｉｃ　＋　アルファ】

「密閉・密集・密接」の三密を避け、「大声を出さない（会話は適度なボリュームで）」を心掛けながら、学校生活を送ろう。

《学校教育目標》
自ら学び、深く考える生徒　（知）
心豊かで、思いやりのある生徒　（徳）
たくましく、健やかな生徒　（体）

蕨市立第二中学校
電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671
URL：http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/
e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp